

海外の動き

パンデミックの中 9万人が労組加入

イギリス公務部門労組 UNISON

組合加入キャンペーン開始前に9万人加入

新型コロナウイルス感染拡大のパンデミックのなかで、イギリス公務部門労組 UNISON（イギリス最大の労働組合 組合員130万人）は、6月22日に組合員加入呼びかけのキャンペーンをスタートさせました。UNISON はホームページで、6月22日にキャンペーン開始を報じるとともに、このキャンペーンを開始する前に、すでに9万人の組合加入あったことを明らかにしています。

これは今年初めから5月中までの加入数で、昨年の同時期よりも約4分の1多く、9万人の内の25%は5月の加入です。5月は23040人の加入があり、昨年の5月より51%増加です。2020年の初めから5カ月間で91925人の新組合員を迎え、組合をやめる人や退職者を差し引いても24000人の純増です。

組合員の増加の最も顕著な部門は、学校を支えるスタッフです。教育部門の5月の組合員増加は2019年の同期の4倍です。コロナウイルスパンデミックの中で、組合が介護労働者のために取り組んだキャンペーンもまた介護部門の組合員の増加につながり、5月は前年同期比135%増となっています。そして、新入組合員の10人の内3人が民間セクターの労働者です。

パンデミックの中で連帯が求められている

UNISON のホームページの記事の中で、Liz Snape 書記次長は以下のように話しています。

「平常な時でも労働者は労働組合員であるべきですが、パンデミックのような大きな困難を抱えているときには、労働組合員であることはさらに重要です」

「労働組合は状況が悪化した時のためにだけ存在するわけではありません。しかし、状況が悪化した時に労働生活を改善することも課題としています。労働組合は、困難に直面した雇用主が責任を果たせるようにし、労働者のスキルを改善し政府とともに労働を安全で公正なものにすることに取り組みます」

「パンデミックの期間に、NHS（イギリス国民保健サービス）や、社会的介護、学校、警察、地方政府から数千人がUNISON に加入してきています。人々は困難な時に直面して、それを変える場を持つことが道理にかなっていることを認識したのです。それが心の中の最大の関心事なのです」。

新型コロナウイルスのグローバルな拡大の中で、犠牲者は膨大な数に上りまさに連帯と労働組合が求められています。UNISON の取り組みはそのことを示しています。

金融・労働研究ネットワーク 田中均

UNISON のホームページ記事を開くには下のリンクをクリック。

[Huge membership rise for UNISON ahead of new recruitment ad campaign launch](#)

また同記事では1分間の動画をリンクさせています。

[Join UNISON 動画](#)